

耳が聞こえにくい

ひいおばあちゃん

小 二

わたしのひいおばあちゃんは、耳が聞こえにくいです。ひいおばあちゃんの家にとまりに行つたとき、いつものように話をして、ひいおばあちゃんからへんじがありませんでした。こまった顔をしているおばあちゃんを見て、わたしの声が聞こえていないのだと気がつきました。

わたしは、ひいおばあちゃんに聞こえやすくするためには、どうしたらよいのか考えました。一つ目は、大きな声で話すこと、二つ目は、ひいおばあちゃんの耳元で話すことです。

わたしは、まず、一つ目の大きな声で話すことをやってみました。少しはなれたところから大きな声で、「ひいおばあちゃん。」とよびました。でも、ひいおばあちゃんからへんじはありません。こんどは、もう少し近くに行つてから、よびました。それでも、ひいおばあちゃんから

へんじはありませんでした。大きな声で話をするだけでは、ひいおばあちゃんには聞こえないようです。

つぎに、二つ目のひいおばあちゃんの耳元で話すことをやってみました。わたしはひいおばあちゃんのよこに行つて、耳元で少し大きな声で話をしました。すると、ひいおばあちゃんからへんじがありました。わたしの声はつきりと聞こえたようです。わたしは、とてもうれしくて、元気いっぱいになりました。

このことを、わたしはお母さ

んに話しました。お母さんに、「すごい。よく考えたね。でも、うちのひいおばあちゃんだけじゃないよ。お年よりやこまっっている人たちもたすけてあげてね。」

と言われました。

たしかに、耳が聞こえにくくてこまっっている人は、わたしのひいおばあちゃんだけではありません。わたしは、お母さんに言われたように、お年よりやこまっっている人がいたら、たすけたいと思います。